

# 大谷學報

第五十九卷 第二号

昭和五十四年九月三十日発行

---

集合行動論序説……………	池田 義祐 (1)
『歎異抄』構成論……………	細川 行信 (9)
最澄の思想形成についての一視点……………	白土 わか (21)
雪窓宗崔伝の史料の検討……………	大桑 齊 (34)
平太郎伝の展開……………	沙加戸 弘 (50)
——浄瑠璃を中心として——	
親鸞教学と般舟三昧思想(下)……………	幡谷 明 (61)
昭和五十三年度特別(研究員)研究発表要旨……………	(74)
彙 報……………	(88)

---

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第五十八卷 第四号

純粹経験の思想と宗教……………坂本 弘

—W・ジェームズと西田幾多郎—

ダルマパーラバドラのチベット文法論

三十頌註の和訳(下)……………稲葉 正就

蔡元培の「美育」論……………大竹 鑑

詩僧慧宣と法宣について……………河内 昭円

獲信の開く世界……………小野 蓮明

—「如来と等し」の思想—

大谷学会研究発表会要旨

昭和五十三年度 寄贈交換誌目録

大谷学報 第五十九卷 第一号

親鸞教学と般若三昧思想(上)……………幡谷 明

M・ビュートル詩

「炎の中」について……………岩見 至

きたえる……………山田 知子

中・後期のシェリング……………堀尾 孟

梵文断簡 *Nidānasamyukta* ……伴戸 昇空

昭和五十三年度(修士卒業)論文題目一覧

# THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

## CONTENTS

### Articles :

Prolegomenon to Communal Behavioral Theory...*Yoshisuke Ikeda* ( 1 )

On the Structure of *Tannishō*.....*Gyōshin Hosokawa* ( 9 )

A Point of View over  
the Formation of Saichō's Thought .....*Waka Shirato* ( 21 )

An Analysis of the Sources  
of Sessō Sōjaku's Biography .....*Hitoshi Ōkuwa* ( 34 )

Development of Heitarō's Biography.....*Hiromu Sakado* ( 50 )  
—Particularly in *Joruri*—

Shinran's Doctrine and the Concept of  
*Pratyutpanna-samādhi* (II).....*Akira Hataya* ( 61 )

### Resumés of Results of Study made by Research

Scholars and Students for 1978..... ( 74 )

### Miscellaneous

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

会務を統理する。

四月一日から施行する。

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

### 大谷学会役員

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

委員 岩見 至 大屋 憲一

一、季刊「大谷学報」の発行

第八条 会員は本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができ

柏原 祐泉 佐々木教悟  
高橋 憲昭 名畑 崇

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

会主催の会合に出席することができ

広瀬 英一 細川 行信  
箕浦 恵了 山本 唯一

四、その他必要なる事業

第九条 会員の会費は年額金壹千五百円とする。

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員とすることができる。

第一〇条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員とすることができる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

編集兼 大谷学会  
発行者 廣 瀬 果  
印刷者 西 村 七 兵 衛

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会 長

第一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

二、委 員

第二一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

第二二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和四十八年

昭和五十四年九月三十日発行

発行所 大谷学会

振替 京都 一八三九三番  
電話(〇七五) 四三三三三二  
郵便番号 六〇三